

「高校生 ICT カンファレンス長野大会 2016」の開催について

心の支援課

1 趣旨

インターネット・スマートフォン等の利用増加に伴い、性被害、ネット依存、不適切な書き込み等様々な問題が生じている。

そこで、高校生が身近なスマートフォンやインターネットの課題について、自ら考え、他者の意見を聴き、議論し、意見をまとめ、発表する「高校生 ICT カンファレンス長野大会」を開催し、各学校での自主的なインターネット利用のルールづくりを通して、情報モラルの向上やインターネットの適正利用を推進する。

2 開催概要

- (1) 主催 長野県教育委員会 高校生 ICT Conference 実行委員会
構成： 安心ネットづくり促進協議会、大阪私学教育情報化研究会、
一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構、
一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会
- 共催 内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁
- (2) 日時 平成 28 年 10 月 1 日(土) 10:00 ~ 17:00
- (3) 場所 安曇野市明科公民館 講堂 (安曇野市明科中川手 6824 番地 1)
- (4) 大会テーマ ネットトラブル! どうする【予防】と【対策】
～トラブルに巻き込まれないために、巻き込まれたら～
- (5) 参加校 明科高校 伊那北高校 木曾青峰高校 駒ヶ根工業高校 諏訪実業高校 高遠高校
茅野高校 東御清翔高校 長野商業高校 長野西高校 松本県ヶ丘高校
長野東高校 合計 12校 生徒合計 43名 (予定)
- (6) 内容

| プログラム | 内 容 | 備 考 |
|-------|---|-------------------------|
| 開会行事 | 主催者・共催者挨拶 | |
| 講 演 | ・ソフトバンクモバイル (株) ・(一社) インターネットコンテンツ審査監視機構 | インターネットの現状・課題・可能性に関する講演 |
| 熟 議 | 上記テーマをもとに、高校生がグループ・ディスカッションを行います。 | |
| 発 表 | 各グループによるプレゼンテーション | 高校生による意見発表 |
| 講 評 | 茨城県メディア教育指導員連絡会 会長 堤 千賀子 (つつみちかこ) 氏 | |
| 県代表選考 | サミットへの県代表の選考・発表 | 参加者による投票で選出 |
| 閉会行事 | 主催者挨拶 | |

- ◆ 「高校生 ICT Conference2016 サミット」 11 月 3 日(木祝) (東京) 本県から 1 名参加。
- ◆ 「高校生 ICT Conference2016 最終報告会」 12 月 (東京)

- (7) その他 長野大会は、一般の方などどなたでも参観できます。

【参考】 高校生 ICT Conference とは

2011 年に「高校生熟議」として大阪でスタート。2014 年は東京、大阪等 5 拠点で開催、計 44 校 221 人が参加。高校生同士が、身近なケータイやインターネットの問題を通して、共に考え、議論し、まとめ、発表することで、コミュニケーション力とプレゼンテーション力を育む場として開催。さらに高校生の意見を中央に届けるべく、各地域の代表がサミット(全国大会)により提言にまとめ、総務省、文部科学省等で発表。2016 年は全国 14 拠点で開催、長野県は昨年度から開催し 2 年目となる。

「高校生 ICT カンファレンス長野大会 2016」の目指すもの

心の支援課

高校生 ICT カンファレンスは、参加者を中心とした以下のような取組が大会後につながるよう目指しています。

- ◆ カンファレンス参加者を中心とした各学校でのルールづくりや啓発の推進
- ◆ カンファレンス参加校から周辺高校等へのルールづくりの呼びかけ

昨年度の ICT カンファレンス以降、以下のような高校生の主体的な取組が各高校で推進されています。

明科高等学校 「歩きスマホの危険性を訴える動画の作成」

明科高校では、学校の規則でスマートフォンを授業中には授業担当教員に預けることになっている。その反動から、休み時間は狭い廊下で歩きながらのスマホ操作に熱中してしまい、体同士がぶつかってしまうなどトラブルが日常的であった。

この状況を何とかしたいと考えた昨年度の生徒会役員3人は、この注意喚起を動画により訴えようと考えた。実際に自分たちがスマホを操作しながら歩き、ぶつかってしまう場面を動画で撮影、これを生徒総会で公開した。

3人は、昨年度の ICT カンファレンス長野大会に参加し他校の生徒たちとスマホのあり方について考えたことがきっかけになったと語っている。



駒ヶ根工業高等学校 「高校生スマホキャラバン隊」

駒ヶ根工業高校では、今年3月、卒業間近の中学3年生に向けて、高校生の目線でスマホの使い方を講演してほしいと近隣の中学校から依頼され、「スマホ教室」を実施した。

これをきっかけに同校生徒は、多くの中学生に同年代の目線でスマホの使い方を教える必要があると考え、長野県警のサイバー犯罪対策室のサイバーボランティアに応募し、県警のスクールサポーターとともに活動する「高校生スマホキャラバン」が結成された。

また、駒ヶ根工業高校では、この動きを県内各地の高校に呼び掛けており、現在、高遠高校、東御清翔高校、長野商業高校、穂高商業高校がこれに賛同し活動を始めている。

東御清翔高等学校 「高校生スマホキャラバン隊」

東御清翔高校では、7月27日に「高校生スマホキャラバン」の講演が行われた。昨年度 ICT カンファレンスに参加した生徒など3名が、県警のスクールサポーターとともに、東御市内の北御牧中学校・東部中学校の2校を訪問。

高校生自らが作成したパワーポイント資料などを基に、中学生にセキュリティの大切さなどについて説明。セキュリティをかけていないとアカウントの乗っ取りや個人情報の流出などで思わぬ犯罪に巻き込まれることや、その対策として「危険なサイトにはアクセスしない。」「インターネットで知り合った他人を安易に信用しない。」などが中学生に示されました。



長野県の高校生の皆さんへ 見直したい! スマートフォンや インターネットに依存する生活

高校生ICTカンファレンス長野大会からのメッセージ



皆さんは自分自身や周囲のスマートフォンやインターネットの利用をどう感じていますか?

- 家庭学習時間や睡眠時間が短いなあ… ”使いすぎ”になっていないだろうか?
- 日常生活に影響がでない利用方法を考えたいけれど… 自分だけでは難しいこともあるよ
- 書き込まれたメッセージで傷つく人が周りにいるけど… 何とかしたいなあ



グループごとで話し合いをしました



話し合ったことをグループ全員で発表しました

こうした課題について、平成27年9月、10月に県内の高校生が集まり「高校生ICTカンファレンス長野大会」が開かれました。

参加した高校生は身近なスマートフォンやインターネットの課題について自ら考え、他の人の意見を聞きながら議論し、意見をまとめました。

こんな悩みや意見が出されました



友だちがスマホへの書き込みが原因で人間関係に悩んでいる。みんなが気持ちよく利用するにはどうしたらいいのだろうか?

スマホに依存していると、リアルなコミュニケーションの良さを忘れがちだね。

※「ネット依存の自覚がある」と回答する高校生 30%



スマホの利用時間のアンケートをとり、学力との関係をグラフにするなど、目に見える形で示せば自覚や自主性が身につくのでは。

※「1日4時間以上利用する」と回答する高校生 26%

利用のルールを私たち生徒自身が主体的に考え、みんなで守ることが大切だね。



高校生という「青春」の毎日を、スマホにとらわれずに楽しみたい!

※長野県教育委員会:H27年度「インターネットについてのアンケート」調査結果より



グループ発表で出された学校でルールづくりを進める時のポイント

まず私たち
高校生自身で考える。

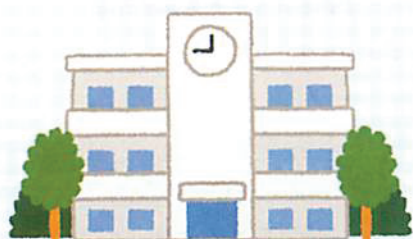
自分の周りの人とリアルな
コミュニケーションの
良さをもう一度確かめる。



関心を高めるために
動画など”見える形”
にして示す。

利用時間の長さや
時間帯を話し合う。

私たちの学校ではこんな取組を考えています～参加校から～



誰もが安心して過ごせる学校生活

「ながらスマホ」の危険性などを扱った動画を作成して、生徒総会で上映し全校の皆さんに見せて考えてもらいます！
(A高校)

利用についての全校生徒へのアンケートを行い、学校オリジナルのガイドラインをつくります。先生にも意見を聞きながら進めます。
(B高校)

近くの学校の生徒会と連携してこの課題を考えていきたいです。学校の取組を地域に発信していきたいです。
(C高校)



あなたの周りや学校にあったらいいと考えるルールを書いてみましょう。

長野大会から長野県の高校生の皆さんへ

あなたの周りにいる人と望ましい使い方ができるように約束事を決めませんか

- 【例】
- やり取りする相手と「返信時間は〇時まで」など決まりをつくる
 - インターネット上に勝手に他人の個人情報を書き載せない

あなたの学校で、主体的にルールづくりに取組んでみませんか

- 【例】
- 生徒会が中心となってガイドラインやルールをつくる
 - クラスや学年でルールについて話し合う
 - 他校の生徒会との交流会を開き、各校の様子やアイデアを情報交換する

みんなの関心が高まるように発信の方法を工夫してみませんか

- 【例】
- 動画を作成して生徒総会で上映し、全校生徒に考えてもらう



“高校生の高校生による高校生のため”のスマートフォンやインターネットの適正な利用に向けたルールづくりを進めましょう！

長野県教育委員会